

城南SSH

月刊

福岡県立城南高等学校
スーパーサイエンスハイスクール
活動報告紙

令和6年度7月号
SSH部発行

第2学年 学校設定科目 [ESD 探究] リサーチ

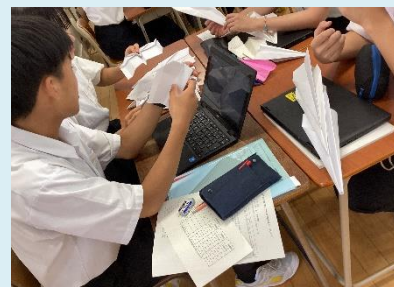
2年生は6月19日(水)、7月10日(水)、107班それぞれの「問い」について二回目のリサーチを行いました。ESD 探究とは Education for Sustainable Development の略称であるため、それぞれ異なる「問い」を設定し、道具の準備をしたり、研究計画を立てたり、何度も班員や担当の先生とやり取りをしたりして、リサーチを行いました。3時間かけてのリサーチは時間的にも内容的にも充実し、実際に模型を作って実験を行う班や市役所や幼稚園、量販店の協力を得て研究をする班、雨水から飲料水を作る方法を探る班などありました。実験内容は数値変化などをグラフにまとめ、客観性を持って結果に繋げていきます。これまでのリサーチの結果により、設定した「問い」の仮説が覆され、新たな手法を試行錯誤する班も見られ、研究の醍醐味を感じています。ときには班員と意見や考え方が違うこともありますが、めげずにコミュニケーションを取り、研究を通して、自己を見つめることもできています。「問い」を立てるのに苦労した班もありましたが、回を重ねるごとに興味深い「問い」となり、今後の研究がとても楽しみです。



幼稚園児向けおもちゃを制作する様子



シュレッダーごみの活用法を探る様子



長く飛ぶ紙飛行機の構造を探る様子

第1学年 理数コース [理数ゼミ] 海洋生物観察実習・事前指導

7月9日(火)5～7限に水産大学校から村瀬先生、阿部先生、南條先生、山田先生をお招きし、8月に実施する海洋生物観察実習の事前指導を実施しました。導入として、知っている海そらを答えるクイズやスケッチから始まり、「海藻」と「海草」の違いやアマモの生態、アマモ場に生息する動物など、動画やサンプルを見せていただきながら講義をしていただきました。また、実習の際の測定の仕方や地曳網のやり方など、実習に向けた基礎知識も指導していただきました。アマモ場を知り、守り、増やすことがSDGsの目標を達成するために重要な役割を果たすことを学ぶとともに、実習への期待が高まる有意義な時間となりました。



アマモの観察の様子



サンプルを見ている様子



講義の様子